

**守田** まず、その問題について自分ですっかり調べる。そして周りの友だちたちと少しでも話題に出して話すことだと思えます。

**工藤** 調べた上で自分の意見をしっかりと確立すること。インターネットを含め、いろんな議論の場で発言していくことも大切だと思います。

**コモン** 以前、ハンバーガー1個のお金が途上国の何人分もの食費になるという記事を読みました。貧困にあえいでいる人たちのことも、自分たちの身近なことに置き換えることで、理解が深められるのではないのでしょうか。

**松本** 知らないことは本当に怖いことです。自分が発言することで、少しでもみんなが考え始めるきっかけになればと思います。自分が体験したことを、正しく伝えることも大切ですね。

**上野** 横浜YMCAが実施する外国人のための住宅サポートの活動を見学し、様々な事情を抱えた人が相談に来ていることを知りました。その時、何に困っているのか、何を求めているのか、自分で状況を知り、その人の立場に立って考えることが重要だと思えました。

**金** まずは、自分が興味を持ったことから行動すること。そうしていくうちに、ほかの問題にも目が向いていくと思えます。

**視野を広げ、意見を持つ  
そして自ら行動できる人に**

**会場から** プログラムに参加して自分自身が変化した点がありますか？  
**守田** 世界YMCA大会に参加して、より世界の出来事を身近なこととして考えるようになりました。また、何にでもチャレンジしようという意欲が生まれました。

**工藤** 世界YMCA大会に参加していた京都大学、九州大学の人々と「学」ネットを立ち上げる話を進めています。ユースとして、輪を広げていけるような活動をしていきたいという思いが芽生えました。

**コモン** これまで世界で起きる問題を何も知らなかったもので、もっと知る努力をしたいですね。時間を作って英字新聞なども読んでいこうと思っています。

**松本** 平和セミナーに参加する前は関心が薄かった新聞記事が目につくようになり、読むようになりました。興味がないから知らないままだったと気づき、何事にも目を向けるようになりました。

**上野** 地球市民育成プロジェクトはすべて英語でしたので、自分の意思をもっと英語で伝えられるようにしたいです。まずは、やはり知ること。そして私自身が行動することが大事だと感じました。

**金** このプロジェクトで、日本人をはじめ韓国や台湾などいろいろな国の人も交流できました。住宅サポートの働きを見て、小さくてもいから外国の人が何でも相談できる施設を熊本に作りたいたいと思えました。

**眞西** 地球市民プロジェクトに参加した金さん・上野さんは、課題に対して具体的にどう取り組むかということを表すアクションプランを作成しました。会場のみなさんからも、私たちができることについて、「知識を増やす」「YMCAの人的ネットワークを活かす」「自分ができることをする」「自分のこととして考える」「世界を知る」「考える、知る、出会う」「関心を向ける」などの意見が出ました。私たちは今後、地球市民として何をすればよいのかを考え、行動を始めることが大切ですね。

**パネリスト**

**眞西優治さん** (コーディネーター)  
世界YMCA大会ユースフォーラムに参加。熊本YMCA職員。

**金婷艶さん**  
地球市民育成プロジェクトに参加。2009年10月に来熊し、熊本YMCA学院日本語学科に在籍。

**上野綾子さん**  
地球市民育成プロジェクトに参加。熊本学園大学外国語学部4年。昨年12月から国際ユースボランティアに参加。

**松本由希子さん**  
国際青少年平和セミナーに参加。熊本学園大学外国語学部2年。最近国際ユースボランティアの一員に。

**コモン眞樹さん**  
世界大会YMCA大会ユースフォーラムに参加。熊本大学文学部2年。熊本大学YMCA花陵会に所属。

**工藤有希也さん**  
世界大会YMCA大会ユースフォーラムに参加。熊本大学工学部3年。熊本大学YMCA花陵会を通じてYMCAの活動に参加。

**守田愛沙さん**  
世界大会YMCA大会ユースフォーラムに参加。熊本大学文学部4年。大学1年から国際ユースボランティアとして活動。

**ミュージカルY  
韓国公演**

不登校や引きこもりの経験がある若者たちで結成された「ミュージカルグループ」。「ミュージカルY!」。自分たちの気づきや主張を演劇や音楽、パフォーマンスを通して表現し、これまで7回オリジナルの作品を上演しています。9月4日(土)〜8日(水)には、熊本YMCAと交流のある韓国金泉YMCAを介して金泉市で開催された音楽祭にオハイエくまもととともに招待出演。また、金泉をはじめ韓国4都市を訪問し、それぞれのYMCAで「君は愛されるために生まれた」を韓国語を交えて上演しました。



**REPORT  
Event**

**学院生がシンガポールで研修**

YMCA学院医療事務管理学科2年生と経営ビジネス科2年生の72名が研修のためシンガポールを訪れました。日本による占領時代を含むシンガポールの歴史と多民族によって構成される社会について学ぶとともに、専門であるビジネスや医療制度についての研修も行いました。また、シンガポールYMCAの仲介で現地の学生との交流を行うなど多彩なプログラムの中、学生たちは貴重な経験を積むことができました。YMCA学院 日野充裕



**留学生日本語スピーチ大会**

開催日時/2010年9月3日(金)10時〜12時  
開催場所/熊本市立図書館ホール

YMCA学院日本語科のスピーチ大会が行われ、韓国や中国、スリランカなどの外国人留学生13名が、日本の暮らしの中で感じたこと、将来の夢などを日本語で発表しました。最優秀賞を受賞したインドネシア出身のデンニ・ワユディさんは、「愛」の文字を示しながらスピーチ。「自分が幸せになることが第一の親孝行」だと、家族愛をテーマに話しました。

